

とうきょうすくわくプロジェクト活動報告

活動のテーマ 「生き物」 ②生き物の成長過程

①テーマの設定理由

自然が身近な土地柄、散歩先で生き物を見つけてくることが多い。また、職員が見つめてきたカマキリの卵を持ってきた際に、興味を持った子がいたため、成長の過程を追うことを提案する。



虫眼鏡、
図鑑、
葉っぱ、
カメラ、
カップ
などを使
って行
いました。

②活動内容・スケジュール

虫かごに卵のついた木を入れ、図鑑を見ながら今のような成長段階なのか住処に適した環境づくりをしました。

子ども達が観察しやすい場所に置くことで、虫眼鏡で今の様子を確認したり、変化が見られたときは子ども自身が気づき、お友達に伝えたりすることもありました。調べたことを元に、カマキリのフィギアで住処や動きを再現し遊びが広がるようにしました。

③探求活動の実践・子どもの声、子ども同士や保育者との関わり

昆虫が好きでクラスということもあり、登降園時に確認したり、一人が見ているとすぐ周りに集まったり観察しながら話し合っていました。

卵を初めて見る子が多く、「成虫になるには、どのくらいかかるの?」「何を食べるのかな」など、子ども達からの質問と一緒に考えて調べました。

次第に、「大きくなってきた」「触覚が長くなってきた」と気づく子も。大きくなってからは、公園にもっていき「元気でね」と自然に戻してあげました。



④振り返り・保育者の気づき

卵から成虫になる過程をほとんどの子が実際に見たことがなかったので、時間をかけて追うことができたのは良い機会になったのではと思います。現在、ビオトープで捕まえてきたエビの赤ちゃんの観察も始まっているため、生き物によってどんな違いがあるのか、子どもたちと発見できるようにしたいです。